

製品名: AKT2 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80810

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	AKT2
別名	PKBB; PRKBB; PKBBETA; RAC-BETA
遺伝子 ID	208.0
SwissProt ID	P31751
免疫原	大腸菌で発現したヒト AKT2 の精製された組み換え断片。

背景

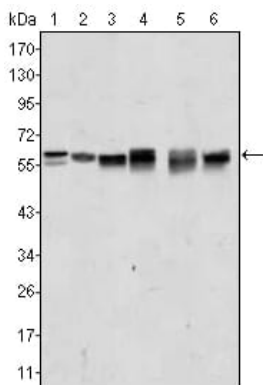
Akt2 (タンパク質キナーゼ B ベータまたは v-akt マウス胸腺腫ウイルス癌遺伝子ホモログ 2 と呼ばれる) は、481 アミノ酸 (約 53kDa) のタンパク質で構成され、Akt1 および Akt3 を含む AKT セリン/スレオニンタンパク質キナーゼファミリーに属します。これ

らは、細胞増殖、分化、アポトーシス、腫瘍形成、グリコーゲン合成、グルコース取り込みなど、幅広い生物学的プロセスに関与しています。AKTファミリーのメンバーの中で、Akt2はヒト癌の発生と関連しています。Akt2は、ASK1のリン酸化を介してシスプラチン誘導性のJNK/p38およびBaxの活性化を阻害し、化学療法抵抗性において重要な役割を果たします。さらに、Akt2は筋分化において特異的な役割を果たします。

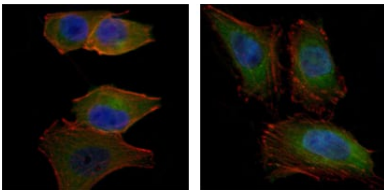
研究分野

アポトーシス、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Jak-STATシグナル伝達経路

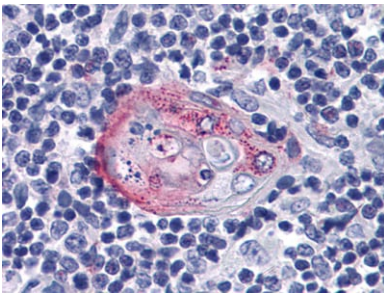
画像データ



A431 (1)、Jurkat (2)、HEK293 (3)、A549 (4)、MCF-7 (5)、PC-12 (6) 細胞溶解物に対するAKT2マウスmAbを用いたウエスタンブロット解析。



AKT2マウスmAb(緑)を用いたPANC-1細胞(左)およびHeLa細胞(右)の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光DNA色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



抗AKT2 mAbを用いたパラフィン包埋ヒト胸腺組織の免疫組織化学分析